



写真：平成17年度「みどりの感謝祭」

さらなる緑化推進に向けて 「みどりの月間」創設

今年から5月4日に変更になった「みどりの日」。

同時に「みどりの月間」が創設され、

これにあわせて、全国で“みどり”に関するさまざまな行事が開催されます。

“美しい森林づくり”に対する国民の意識や理解を高め、

「国民参加の森林づくり」を推進する取り組みとして、

大きな期待が寄せられています。

独自色を出した 緑化イベントを開催

昨年まで四月二十九日に定められていた「みどりの日」が、今年から五月四日になりました。これを機に、「みどりの週間」は廃止し、四月一五日から五月一四日の一カ月間を「みどりの月間」として制定しました。関係府省庁が連携を取り、全国各地で様々な行事が行われます。

このキャンペーンは、通常行っている緑化推進の取り組みに加えて、緑の募金活動や「みどり」に関連する緑化行事などが全国的に行われるため、「美しい森林づくり」や「国民参加の森林づくり」運動を進めるうえで大変重要なものです。

新たに行われる行事の目玉として、四月二七日（金）に「みどりの式典」が都内で実施されます。植物や森林、緑化、造園、自然保護などに係わる研究・技術開発など、「みどり」に関する学術上の功績があった個人に「みどりの学術賞」、「緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」が授与さ

れます。

このほかに、五月四日（金・祝）には「みどりの日」を記念した新規行事が全国各地で行われます。全国の国営公園や大学付属植物園の無料開放や東京都・皇居吹上御苑での自然観察会のほか、子どもから大人まで参加できる、その土地独自の「みどり」イベントが行われる予定です。

また、昨年約二十万人の来場があった「森と花の祭典 みどりの感謝祭」が、今年も五月二日（土）、二三日（日）の二日間、東京都・日比谷公園にて開催されます。二日（土）、東京都・数寄屋橋付近では、

緑の募金街頭キャンペーンも同時に行われるため、今年も多くの人出が予想されます。

春の穏やかな日差しが気持ちいい季節です。みどりと親しむこれらのイベントに、足を運んでみてはいかがでしょうか。



ボーイスカウトや緑の少年団の子どもたちも参加し、式典が華やかに



自然観察会では、木々の特徴なども学べます